

教科	国語	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
白いぼうし	10	○松井さんの行動や気持ちを考えながら読み、松井さんになって、「この日」のできごとを日記に書く。	○様子や行動，気持ちや性格を表す語句の量を増し，言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し，語彙を豊かにしている。	○「書くこと」において，自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫している。 ○「読むこと」において，登場人物の行動や気持ちなどについて，叙述を基に捉えている。 ○「読むこと」において，登場人物の気持ちの変化や性格，情景について，場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。	○進んで登場人物の気持ちや性格，情景について具体的に想像し，今までの学習を生かして，登場人物になったつもりで日記を書こうとしている。
花を見つける手がかり	10	○「もんしろちょうは何を手がかりに花を見つけるか」という問題を解明していく一つ一つの実験の結果とそこから引き出される結論，実験を繰り返していく考えの筋道などを，叙述をおさえながら読む。	○主語と述語との関係，修飾と被修飾との関係，指示する語句と接続する語句の役割，段落の役割について理解している。 ○考えとそれを支える理由や事例，全体と中心など情報と情報との関係について理解している。	○「書くこと」において，自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫している。 ○「読むこと」において，段落相互の関係に着目しながら，考えとそれを支える理由や事例との関係などについて，叙述を基に捉えている。 ○「読むこと」において，目的を意識して，中心となる語や文を見つけて要約している。	○粘り強く，考えとそれを支える理由や事例との関係などについて叙述を基に捉え，学習の見通しをもって，結果と結論のつながりを捉えようとしている。

リーフレットで知らせよう	10	○リーフレットの特徴を生かした組み立てを考え、見学したことや調べたことを報告する。	○漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使っていると、句読点を適切に打っている。	○「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 ○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 ○「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。	○積極的に、書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考え、学習の見通しをもってリーフレットの組み立てを考えようとしている。
ぞろぞろ	10	○場面や人物の様子を想像しながら、落語を音読したり、演じたりする。	○相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。	○「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。 ○「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 ○「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像している。	○進んで登場人物の気持ちの変化や性格、情景について具体的に想像し、学習の見通しをもって、落語を音読したり演じたりしようとしている。

<p>一つの花</p>	<p>9</p>	<p>○登場人物の思いを想像しながら、二つの場面を比べて読み、読んだ感想を友達に伝える。</p>	<p>○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。 ○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>○「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 ○「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。</p>	<p>○積極的に、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習の見通しをもって、心に残った場面をもとに感想文を書こうとしている。</p>
<p>ごんぎつね</p>	<p>8</p>	<p>○人物の気持ちや場面が移り変わるおもしろさを読み、読書の世界を豊かにする。</p>	<p>○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。</p>	<p>○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 ○「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。</p>	<p>○積極的に、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習の見通しをもって物語のポスターを作ろうとしている。</p>
<p>新スポーツを考えよう</p>	<p>8</p>	<p>○司会者や発言者などの役割を果たしながら、話し合いの進行に合わせ、互いの考えをよく伝え合って話し合う。</p>	<p>○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 ○比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。</p>	<p>○積極的に目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たし、学習の見通しをもってクラスで話し合おうとしている。</p>

<p>ウミガメの命をつなぐ</p>	<p>9</p>	<p>○ウミガメの産卵や成長を研究する名古屋港水族館の取り組みを時系列に沿って読み、興味をもった点から整理して文章を要約する</p>	<p>○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 ○比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 ○「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。</p>	<p>○積極的に、目的を意識して中心となる語や文を見つけて要約し、学習の見通しをもって、本教材の紹介文を書こうとしている。</p>
<p>「不思議ずかん」を作ろう</p>	<p>6</p>	<p>○図や写真などの資料を活用し、紙面を工夫して図鑑を作る。</p>	<p>○比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 ○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 ○「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整えている。</p>	<p>○積極的に、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって「不思議ずかん」を作ろうとしている。</p>
<p>「便利」ということ</p>	<p>6</p>	<p>○「便利」とはということかを考えながら読み、自分の経験と照らし合わせながら考えをまとめる。</p>	<p>○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 ○比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。 ○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。</p>	<p>○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。</p>	<p>○積極的に、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習の見通しをもって、「便利」について考えたことを文章にまとめようとしている。</p>

<p>自分の成長をふり返って</p>	<p>9</p>	<p>○様子がわかるように、よりよい表現を選んで書く。</p>	<p>○漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使っていると、句読点を適切に打っている。 ○主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。</p>	<p>○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 ○「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。 ○「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。</p>	<p>○積極的に、書こうとしたことが明確になっているかなど文章に対する感想や意見を伝え合い、学習の見通しをもって、よりよい表現を選んで文章を書こうとしている。</p>
<p>木竜うるし</p>	<p>8</p>	<p>○登場人物の考え方の違いや、その移り変わりを考えながら読み、気に入った場面を物語のように書きかえる。</p>	<p>○相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。</p>	<p>○「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。</p>	<p>○積極的に、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習の見通しをもって、脚本を物語のように書きかえようとしている。</p>
		<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
		<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>